

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はくろう		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っていること。	利用後に直接支援をしたスタッフから児童の様子について申し送りする時間をとっている。 その際に、実施した課題を提示したり口頭で説明するなど工夫している。	利用後すぐに帰らないといけない等、申し送りの十分時間が取れないときの対策を検討しておく。(電話やLINEで共有するなど)
2	少人数での活動により、子ども一人一人への支援・援助が行き届きやすい。	活動エリアを分け、個々の活動に集中しやすい環境を設けている。	個別だけではなく、季節の行事や小集団による活動を取り入れていく。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	常に汎化を意識し、ルーティン化を避けている。また、季節に合わせた活動も取り入れている。	今後利用が増えるということを考え、各自のスケジュールが止まらないよう考える必要がある。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	保護者会の開催をしたことがない。 他団体によるきょうだい会の開催についての周知が足りない。	きょうだい会についてはSNSだけでなく、早い時期から事業所にチラシを掲示してさらに広く周知していく。 保護者会の開催については必要性や時期を考慮する。
2	間取りが直線部分が多いため子どもが走ることができちゃう。	直線の距離が長いこと。	棚やパーテーションなどの遮蔽物で直線の距離を短くする。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営が行われていない。	会場として事業所として提供することはできる。	スタッフが少ないため、大きな行事を開催することが難しいが、清掃等地域に貢献できるよう考えたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はくろう				2026年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	・子どもが同時に一つの活動場所に集まらないように、一日の予定をたてている。	・勉強のスペースが空いてなくて待ちがないようにしたい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・利用者を複数ののクラスに分け少人数での活動にすることで、職員の援助が届きやすくなっている。・こどもの状態等に対応できるよう個別に関わっている。	・緊急の場合に入れる保育士さんがいると良い	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	・仕切りがなく見通しが良いので、子どもの様子が見やすい。・TEACCHプログラムを取り入れ、こども一人ひとりに合わせた構造化を行っている。	・玄関までに階段があり、段差も多く車椅子での利用は難しいと思われる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	・エアコンによる温度調節、消毒による衛生管理をしている。学習に集中できるように視覚刺激の少ない部屋を設けている。・空調や湿度管理を行っている。また活動エリアを分けることで、「何をする場か」を理解し、切り替えがしやすいようにしている。	・そこでは動ける(何か運動ができる)スペースがあると良いと思う	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・静養室を設け、使い方を説明している。・ひとりでゆっくり取り組めるエリアや静養室を設けている。	・空いているスペースにテント等を置いて個室として使えると良いと思う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	・毎日、終礼にて行っている。・職員が少ないので、距離が近い	・個々の職員や事業所の目標に対し、振り返りの時間を確保するようにする。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・評価表を集計しスタッフ全員で共有し、改善策を話し合っている。	・子どもに対する相談は少なくとも6か月に1回は保護者と話す機会を設けているが、評価表は用いていないため、本評価をもって保護者からの意向等を業務改善につなげていく。・任意のアンケート以外に何か意見を書いてもらうものがあつた方が良いかもしれない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・終礼時にてスタッフ全員で行っている。・社長や、外部に委託しスタッフの話を聞く時間を作っている	・個別で職員からの意見等を収集したり、フィードバックする機会を設ける。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	・他の施設との繋がりを持っている	・第三者機能評価の受審を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・TEACCH研を受けている。・毎月第2週ごろに研修の時間を設けている。	・個人の勉強の為に購入した本を共有したい	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	・職員で話し合いの上、作成している。・チャットを使い共有できるようにしている。・当事業所ホームページに公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	・職員で話し合いの上、作成している。・会議を開き話し合いの時間をもっている。・利用開始前に保護者から支援内容に関する聞き取りを実施した上で、アセスメントを行い、それらに基づいて計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・職員で話し合いの上、作成している。・チャットで情報を共有し、話し合いの時間をとっている。・直接支援にあたる職員も参画し、計画を作成する時間を設けている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・共有アプリや書類で共有し提供している。・チャットで情報を共有し、気になったことは終礼で話し合っている。・計画の内容を直接支援にあたる職員に共有している。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	・スタッフ全員が同じ方法で使えるよう指導したうえで利用者へ提供し、記録をとっている。 ・行動観察記録表を作り、不適応な行動が出た場合の記録をとっている	・当事業所ではフォーマルアセスメントを用いる機会が少ない。インフォーマルアセスメントについては職員ごとにやばらつきがあるため、客観的な分析ができるようにしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・面談や授業見学を行っている。 ・個別支援計画表を常に意識できるところに置いている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・ケース会議や終礼にて行っている。 ・話しやすく距離が近い職員関係がある。 ・少なくとも2名以上の職員で活動プログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・前回と同じにならないように予定をたてている。 ・常に汎化を意識し、ルーティン化しないよう心がけている。 ・活動（スケジュール）の流れを日ごとに変えたり、季節にあわせた創作活動や遊びを取り入れるなどしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	・遊びのエリアと、学習室を壁で視覚に入らないように遮っている。 ・部屋を個別活動の場所と集合活動の場所を分けている。 ・個別活動をメインに支援をしている。友達とかかわり方について支援が必要な子ども等には、2～3名の小集団で創作活動や遊びに取り組む時間を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・製作の手順や、当日利用者への伝達事項の確認、利用者の担当スタッフの確認を行っている。 ・役割分担を 구글カレンダーで共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・終礼にてスタッフ全員で行っている。 ・終礼で振り返りを行っている。必要な時は動画を振り返り取り共有している。 ・記録をとり、共有できる体制を整えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・記録の判定の判断が難しい場合は職員間で相談をしている。 ・個人的に毎日に記録をつけている。 ・再構造化したり教材の提示のしかたを変える際には職員間で検討し、その結果を終礼時に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・記録を取り、過程や結果から見直しをスタッフ全員で行っている。 ・毎日の活動記録を意識し、毎日がモニタリングと心がけている。 ・少なくとも6か月に1回見直しをし、保護者にもモニタリング結果を報告している。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	・地域の活動や他の施設との催しに参加できるようにしている。 ・利用者と一緒に活動の内容を考えたり、興味のある遊びを取り入れている		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	・好きな遊びができる時間、好きなおやつを選べるようになっている。 ・スケジュールの変更等、柔軟に対応できるようにしている。	・こどもの段階に合わせて自己決定できる場を設けているが、対応方法や段階の順序を職員間で共通認識をもつ必要がある。	
関係機関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	・内容を共有できるようにしている	・基本的には児童発達管理責任者が参画している。今後は人員配置や開催時間の問題をクリアした上で直接支援にあたる職員にも参画してもらう。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・連携の小児科やカウンセラーがいる。 ・担当者会議や授業見学、フリースクールとの連携をしている	・中には、こどもが通う学校やSSWと連携をとり、こどもの心身の状況等を電話や対面で共有している場合もあるが、全てのこどもに対してできていないわけではない。セルフプランの家庭が大半なため、当事業所が中心となって可能な限り連携をとっていく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	・下校時には学校からこどもについての申し送りを受けるようにしている。年間計画や行事予定の交換についてはできていないため、必要に応じて共有する。	・保護者からの情報のみ。 ・学校から保護者への連絡（スクールリレー）に放課後デイサービスも入れて欲しい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3	・情報をもっている人からの聞き取りはできている	・就学前の情報は少ない。 ・現状のような例のこどもの利用はないが、今後あれば対応する。

や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	3		・該当者なし。・まだ該当者がいない。・現状そのような例のこどもの利用はないが、今後あれば対応する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	・協力事業所より教材を使わせてもらっている。研修で質問や助言をいただく機会がある。・勉強会に参加している	・必要に応じて機会を検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	・フリースクールでのイベントへの参加をしている。・地域のイベントに場所を提供している。・今年度は他放デイさんや民間学童さんによる、展示会やクリスマスイベントなどに参加させていただいた。今後も他事業所との交流の機会を検討していく。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	・担当者会議を行っている。・直接参加できなくても情報を共有している。・可能な限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・申し送りにてできたこと、できなかったところを伝えている。・お迎え時に申し送りの時間がある。・利用後に職員から保護者へ申し送りをする時間を可能な限りとっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・TEACCH研の日程を公開している。・勉強会のチラシを置いている。・事業所出入口に研修会やセミナー等の案内を掲示している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・口頭と文章を使い説明している。・説明に加え文章でも渡している。・ホームページや事業所内に掲示もしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・口頭と文章を使い説明している。・サービスを提供する前に意向の聞き取りをしたり、個別支援計画原案や個別支援計画の内容を確認いただき同意を得ている。・アセスメントや支援者会議、面談を行い、その内容を職員に共有している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	・少なくとも6か月に1回実施している。・支援計画会議を行い、面談をしている。・口頭と文章を使い説明している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・保護者からの要望に応じて面談の時間をとったり、定期的に面談を実施するなど、保護者やこどもの状態等に応じて柔軟に対応している。・電話やメールでの相談にも応じている。・口頭と文章を使い説明している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	・きょうだい会のイベントのお知らせをしている。・兄弟会を開催している	・実施したことがないため、必要に応じてニーズや開催の必要性を検討していく。また、他団体によるきょうだい会の開催にあたり当事業所を開催場所として提供しており、当事業所の保護者にも周知している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	・苦情対応マニュアルがある。・共有アプリ、終礼にて情報共有し変更部分は利用者、保護者にも説明をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	・SNSでの発信をしている。・SNS HPにて発信している	・おたより等は発行していないため、今後検討する。SNSに活動をアップすることで事業所での様子がわかるようにしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・事業所や利用者に関する情報が載っている書面については鍵付きの書庫に保管している。・鍵付きで扉が透明ではない書庫に入れている。・個人情報は鍵付きの棚にしまっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・絵カードを使って意思表出を手助けするなどこどもに合わせて取り組んでいる。保護者についてはLINEや対面などで意思疎通を行っている。・言葉、文字だけでなく絵カードを使用している。・申し送りにおいて本児にとって負担が多い内容は聞こえないように配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	・会場として提供している	・事業所の行事に地域住民を招待したことがないため、必要に応じて検討する。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	・マニュアルが手に取りやすい場所に用意されている。・スタッフ間で役割分担し、利用者とともに訓練している	・ホームページや事業所内掲示など、どのような形で保護者等に周知していくか検討していく。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・委員会があり会議を開いて避難についての見直しをしている。・定期的に避難訓練、備蓄の確認をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	・利用開始前の聞き取り時にアレルギーの有無などの確認をしている。・保護者からのアセスメントの情報を共有している。・服薬、てんかんの有無を書類、共有データで把握している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	・医師の指示所に基づいているかはわからないが、事前に保護者経由で除去物を確認している。・おやつ提供の表を分けている。・利用者ごとにアレルギーを発症するおやつを提示から外している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・定期的にスタッフ全員で見直し、研修、訓練を行っている	・スケジュールの中に避難訓練を入れる方が良いと思う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・玄関に資料を貼っている。今後手に取って見れるものを置く予定にしている。・避難訓練を行ったことを申し送りにて伝えている。記録にも残しておきたい	・ホームページや事業所内掲示など、どのような形で保護者等に周知していくか検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	・終礼時に共有し、対応している。・毎日の終礼で振り返りが出来ている。	・ファイルを作りスタッフ全員が見れるようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・年間計画に研修を入れている。・定期的にスタッフ全員で見直し、研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	・個別支援計画原案や個別支援計画に記載し、保護者に説明し同意を得ている。・できるだけ身体拘束がない方向で運営ができるように話し合いをしている。・定期的にスタッフ全員で見直し、研修を行っている。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 はくろう

公表日 2026年 3月 20日

利用児童数

3

回収数

2

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	利用者保護者が覚えていない、忘れている	保護者がいつでも閲覧できるよう事業所内にマニュアルを掲示する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2	しているのかもしれないが説明受けていても忘れてる	訓練実施時にはその旨や児童の様子などをサービス提供記録に記載する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					